

館長室へようこそ②②

自分の価値観は絶対か

図書館長 古川 聡

ある日の授業で、学生に次のような課題を出した。「家族のつながり」「友情」「生きがいとなるもの」「将来の夢」「他人に迷惑をかけない社会性」「日々の喜び」の六つについて、自分にとって生きる上で大切なものから順位をつけ、その理由を簡単に書きなさい。それが終わったら、今度は六人ほどのグループでしっかりと討議し、グループとしての統一見解を出しなさいというものであった。

学生に課すからには自分でも考えなければならぬ。家族のつながりは大事だ。友情があるから大切な仲間もできる。些細なものであっても生きがいがあるから今日の私がある。この歳になつたものの、多少なりとも将来の夢はある。もちろん他人に迷惑をかけるのはもつてのほか。日々の喜びがあればこそ、こうして仕事が続けられる。さて、順位などつけられるものと自分でも迷つてしまう。

ドイツのシュプランガーは、『生の諸形式』という著書の中で、人間の個性の類型として次の六つを挙げている。物事を客観的に見て論理的な知識体系を追求することを重視する理論型、美しいものが最高だと考える審美型、物事の経済性を重視する経済型、神への奉仕を最優先させる宗教型、権力を求め他者を支配しようとする権力型、人間を愛して協調して生きていこうとする社会型である。何に価値を見いだすかも、その人らしさだと言うのである。

先の課題で自分なりに順位をつけたものの、集団で統一見解を出すとなると難しい。中には順位の数を合計して数学的に決めようとする者もいれば、すぐに自分の考えを引っ返して迎合してしまう者もいる。論議している姿を見ると、その学生らしさが見えてくる。自分では当然だと思っていたものが必ずしもそうではないことに気づく。でも、その中で自分の思いも反映させたい。さて、どうする。

図書館のう・こ・き..... 耐震改修工事報告⑦

◇いよいよ芸術祭明けに2階メインフロアがオープンします！

現在、図書館の耐震改修工事は急ピッチで進んでいます。順調にいけば、10月中に工事引越しが終了し、いよいよ芸術祭明けに2階のメインフロアがオープンします！

2階には広いメインカウンターと2つの大きな閲覧スペースが誕生します。一つは、入館ゲートから続く吹き抜けとグランドピアノのあるスペース。雑誌や音楽マンガのコーナーはこのスペースに設置します。また、資料を紹介する展示や、ピアノを使ったレクチャーやイベントなども実施していきます。読書や勉強はもちろん、アンサンブルの相談、待ち合わせなどいろいろな使い方をどうぞ。

もう一つは、開架図書の本棚を置いた学習スペース。ここはシラバス本のほか、教職やキャリア、語学に関するコーナーを作り、たくさんの図書が並び予定です。新着図書も、いつでも手にとれるようこのスペースで紹介していきます。パソコン席も含め、約60の座席を用意しますので、座席不足も解消されます。

これから3フロアとなる図書館。全フロアのリニューアルオープン、どうぞ楽しみに!!!